



2026 年 7 月 27 日

報道機関 各位

(名古屋教育記者会、文部科学記者会)

音声による通報が困難な音声・聴覚障害者のための Net119 緊急通報システムの普及に向けた連携覚書を締結

名古屋大学医学部附属病院は、名古屋市消防局と、音声・聴覚障害者向けの「Net119 緊急通報システム」*1)の普及啓発に関する連携覚書を締結しましたので、お知らせします。ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

がんの手術等により声を失った音声障害者は、災害時や自身・家族の急病の際に、電話(音声)による 119 番通報が困難です。本取組は、日本医療研究開発機構(AMED)の障害者対策総合研究開発事業に採択された「Save the Voice プロジェクト」*2)の一環として実施されるものであり、医療現場(病院)と消防救急現場(消防局)が直接かつシームレスに連携する画期的な試みです。

音声・聴覚障害を持つ方々が退院後も地域で安心して暮らせるよう、入院中の段階から「Net119」の登録案内と実践的な使用指導を開始します。大学病院と救急行政が一体となることで、対象者の救命率向上と社会生活における不安軽減に大きく貢献していくことが期待されます。

名古屋大学では、世界と伍する研究大学を目指し、すべての人々が健康で安心して暮らせる社会の実現に向けた取組を進めています。今回の名古屋市消防局との連携および AMED 事業の推進は、この取組を強力に推進するものです。

*1)「Net119 緊急通報システム」について

<https://www.city.nagoya.jp/bousai/shoubou/1012724/1013344/1013347.html>

*2)「Save the Voice プロジェクト」について

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/jibika/amed/>



名古屋大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

名古屋大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学 担当:西尾 直樹

TEL:052-744-2323

FAX:052-744-2325

Email:nishio.naoki.z8@f.mail.nagoya-u.ac.jp